

2002. 11
霊性センターニュース
171号



「命の流れ」

カルメル会 中川 博道

七～八年前、北イタリア山中の解け出した氷河の中から、五千年前の男性がほぼそのままの姿で発見されたことがありました。凍結されていた遺体の保存状態は良く、読み取れた細胞の遺伝子をもとに子孫を探したところ、細胞提供した人々の中から十数人が同じ血の流れを汲んだ子孫であることが判明しました。その一人のインタビュー記事を読み、「自分に命を伝えてくれた人たちが長い歴史を通して連綿と存在していたこと」をあらためて考えさせられました。

200万年にも及ぶ人の歴史には、《その人がいなければ「今のわたし」は存在しなかった》何十万人もの命の流れがあります。そのひとり一人が、愛し、愛され、苦しみ、悩んだドラマを抱えています。その生きたひとこまひとこまが、ひと鼓動ひと鼓動が、わたしの命に流れ込んでいると言っても決して大袈裟ではないでしょう。

マタイ福音書の冒頭の、あの長い系図に、そのような血の流れを引き受けて「真の人となられた神」の、わたしたちの命への共感を思います。

アブラハムにイサクが生まれ、 イサクにヤコブが生まれ、
ヤコブにユダとその兄弟たちが生まれ・・・・・・

キリストと呼ばれるイエスはこのマリアからお生まれになった。

(新改訳：マタイ1章1～25参照)

わたしたちに先立って逝かれた人々のことを、死者の月に思い巡らします。命の流れの中で、今を生かされている豊かさを味わいたいと思います。

霊性センターカルメル

1. 聖書深読黙想会

(1)上野毛聖テレジア修道院（黙想）(2002年黙想会年間スケジュールのページを
ごらんください)。

(2)宇治聖テレジア修道院（黙想）(2002年黙想会年間スケジュールのページを
ごらんください)。

(3)名古屋（日比野教会）連絡：小林厚 〒465-0058名古屋市名東区貴船3-2115

(4)大分聖テレジア修道院（黙想）

連絡：冨田恵子 〒870-1125 大分市上宗方1803-3 TEL. 0975-41-4012

(5)通信聖書深読

朝日カルチャーセンター（東京新宿）が通信講座のなかに『聖書深読』を
組み入れてくださることになりました。ご希望の方は下記にご連絡ください。

連絡：小池奈津紀。東京都新宿区住友ビル私書箱22. TEL. 03-3344-2527

*「聖書深読法の生いたち」（奥村一郎）。オリエンス宗教研究所出版。

定価 1000円。下記に直接ご注文下さい。3冊以上注文されれば 20 %引。

オリエンス宗教研究所

FAX. 03-3325-5322

〒156-0043 東京都世田谷区松原2-28-5 TEJ. 03-3322-7601





2002年 カルメル会 東京・上野毛聖テレジア修道院(黙想)

黙想会年間スケジュール

1. 信徒と奉獻生活者のための個人指導黙想会

スタッフ：星野正道師 (カルメル会)、西脇 良師 (神言会)
Sr.中川享子 (ケベックカリタス会)

- (1) 6月10日(月) 16時～19日(水) 朝食
 - (2) 10月18日(金) 16時～27日(日) 朝食
- 全期間参加の方優先ですが、二泊からの部分参加も可能

2. 奉獻生活者のための黙想会

- (1) 7月30日(火) 16時～ 8月 8日(木) 朝食 渡辺幹夫師
- (2) 8月20日(火) 16時～ 8月29日(木) 朝食 山田裕於師
- (3) 12月26日(木) 16時～翌年1月4日(土) 朝食 チプリアーノ師

3. 聖書深読黙想会

次の各土曜日の夕食から日曜日の16時30分まで

- (1) 4月20日(土)～21日(日) 奥村一郎師
- (2) 6月22日(土)～23日(日) ”
- (3) 9月 7日(土)～ 8日(日) ”
- (4) 11月16日(土)～17日(日) ”

2003年

- (5) 1月25日(土)～26日(日) 星野正道師
- (6) 3月 1日(土)～ 2日(日) 奥村一郎師

4. ウェンズデイ・リトリート

スタッフ：星野正道師

「いのちの原点を見つめて」 (音楽瞑想、講話、ミサ、etc.)

- (1) 4月17日(水) 10時～16時
- (2) 5月 8日(水) ”
- (3) 7月10日(水) ”
- (4) 10月16日(水) ”
- (5) 11月27日(水) ”

5 . 奉獻生活者と信徒のための黙想会

2003年1月28日(火) 16時 ~2月6日(木) 朝食 星野正道師

6 . 特別黙想会

最初の日の夕食をすませてからの集合。どなたでも参加できます。

- (1) 6月26日(水) 20時~28日(金) 15時 新井延和師
- (2) 11月12日(火) 20時~14日(木) 15時 //

7 . 大祭日のミサにあずかるために

チェックイン午後3時から。(講話なし) チェックアウト午前10時まで

- (1) クリスマス 12月24日(火) ~25(水) 朝食
- (2) 復活祭 2003年4月19日(土) ~20(日) 朝食

8 . ユース・リトリート

若者のための ……音楽で祈る黙想会……

11月30日(土)夕食~12月 1日(日)16時 星野正道師

9 . 男子青年黙想会

スタッフ: カルメル会士

- (1) 5月17日(金)20時~19日(日)16時
- (2) 11月 2日(土)20時~ 4日(月)16時

以上の申込みは、カルメル会上野毛聖テレジア修道院へ。
皆さんが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたします。

カルメル会上野毛聖テレジア修道院(黙想)

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-14-25

TEL. 03-5706-7355(黙想)

FAX. 03-3704-1764

上記が通じない場合は、修道院 TEL. 03-3704-2171 へお願い致します。

ただし、黙想関係の受付窓口を一つにしておりますので、電話でのお問い合わせは、なるべく午前9時~午後5時までの間にお願ひ致します。

尚、受付が休みになっている際は、すぐにお返事ができない場合もあります。その際は、恐れ入りますが、後日改めてお問い合わせ下さいませようお願ひ致します。

2002年

黙想会案内

【聖書深読黙想会】

(土曜日午後5時集合/日曜日午後4時解散)

1月19日(土)～20日(日)	奥村一郎神父担当
2月23日(土)～24日(日)	中川博道神父担当
4月20日(土)～21日(日)	新井延和神父担当
5月18日(土)～19日(日)	中川博道神父担当
6月22日(土)～23日(日)	新井延和神父担当
7月20日(土)～21日(日)	奥村一郎神父担当
9月21日(土)～22日(日)	新井延和神父担当
10月19日(土)～20日(日)	中川博道神父担当
11月23日(土)～24日(日)	奥村一郎神父担当
12月14日(土)～15日(日)	新井延和神父担当

【青年のための黙想】

(高校生以上～35歳まで)

・男性のため	5月11日(土)～12日(日)	カルメル会士
	11月 2日(土)～ 4日(月)	
・女性のため	6月 8日(土)～ 9日(日)	星野 正道神父 ・カルメル宣教
	11月17日(日)午前10時～午後5時	

【一般のための黙想】

・日曜の黙想	(午前10時から午後4時まで)	
	12月22日(日) クリスマス	シスター ベアトリス
・火曜の黙想	(午前10時から午後4時まで)	
	1月22日(火) 一年の始めに	中川博道神父
	2月19日(火) 四旬節準備	アロイジオ神父
	3月12日(火) キリストの受難	新井延和神父
	4月16日(火) 復活	新井延和神父
	5月14日(火) 聖母マリアとともに	長岡幸一神父
	6月18日(火) イエスの御心	新井延和神父
	7月 9日(火) カルメル山の聖母マリア	アロイジオ神父
	9月 3日(火) 祈りの時	北村善朗神父
	10月 1日(火) 幼きイエスの聖テレジア	アロイジオ神父 中止
	11月 5日(火) 殉教者の霊性	新井延和神父
	12月 3日(火) 神がやってくる	奥村一郎神父
・聖テレジアの黙想		伊従信子氏
	10月 5日(土)午後5時～6日(日)午後4時	
・7日間の黙想 (奉献者の参加可)		新井延和神父
	4月28日(日)～ 5月5日(日)	
・四旬節の黙想	2月16日(土)～17日(日)	中川博道神父
・待降節の黙想	12月 7日(土)～ 8日(日)	九里 彰神父

【奉獻生活者の黙想】

(午後5時集合/午前9時解散)

7月26日(金)～ 8月 4日(日)	新井延和神父
8月17日(土)～ 8月26日(月)	中川博道神父
9月10日(火)～ 9月19日(木)	奥村一郎神父
10月21日(月)～10月30日(水)	中川博道神父
12月27日(金)～ 1月 5日(日)	九里 彰神父

《申し込み》はがき 又は FAXにて、「氏名・住所・電話番号・(所属修道会名)」を書いてお申し込みください。

・但し、一般の「一日黙想」は電話での受付もいたします。

・一年中、個人・グループの黙想をすることが出来ます。

宇治カルメル会 聖テレジア修道院 (黙想)

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12

Tel 0774-32-7016 / Fax 32-7457

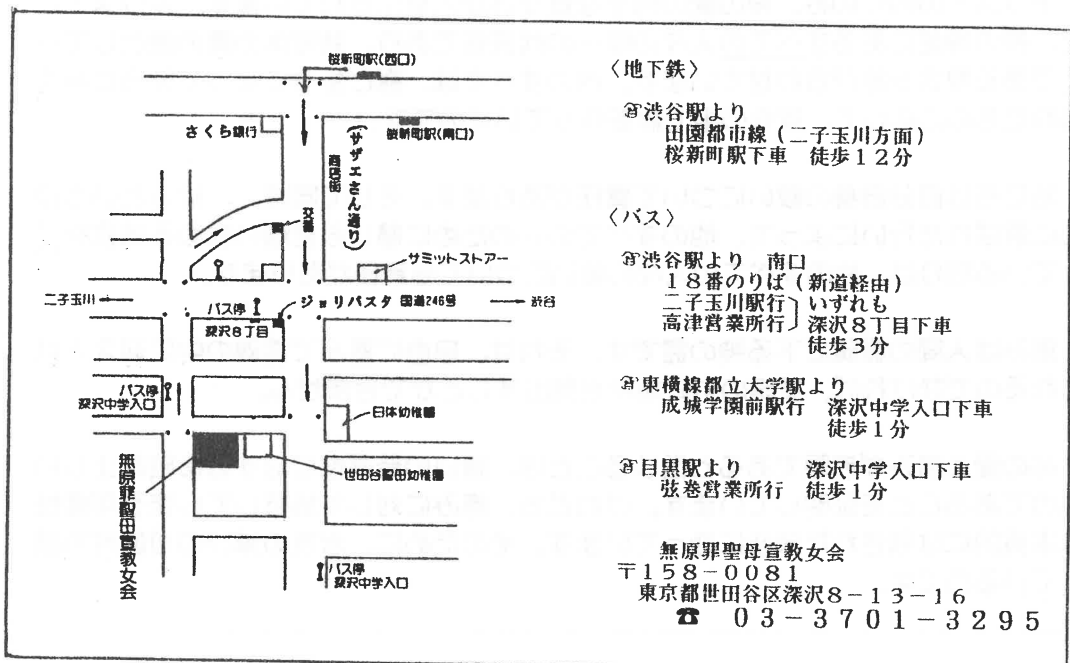
修道生活、司祭生活を考える若者の集い

若い時、それはいろいろな可能性に開かれている時。
 でも、だからこそ迷いも多い時だと思います。そんな時、一人で考え込んでいないで誰かに話したり、相談できたら何かが少し変わってくるかも知れないです。
 ここは、そんな集いです。修道生活や司祭生活だけでなく、自分の将来を考えている人なら誰でも来て見てください。なお、この集いは特定の修道会へのおさそいを目的にしたものではありません。自分の進路を識別したい人のために開かれています。

- 日時： 12月22日(日) 10:00～16:00 昼食は各自お持ちください。
- 対象： 30歳くらいまでの独身男女青年
- スタッフ： 司祭、神学生、シスター、信徒
- 費用： 1000円
- 内容： 主日ミサ、講話、祈り、個人指導等
- 持って来るもの： 聖書、ロザリオ、筆記用具、昼食等

連絡先： 158-0093 世田谷区上野毛2-14-25 男子カルメル修道会
 星野正道神父 Tel.03-3704-2171 又は 052-671-1003
 申し込みの必要はありません。

会場： 無原罪聖母宣教女会修道院
 〒158-0081 世田谷区深沢8-13-16(東急田園都市線桜新町下車)





… 主の御手のもとに生きる …

エディット・シュタインのメッセージ

—NOVEMBER—

神の神秘のベールをはがそうとすることは危険です。けれども、全能なるお方の指は、聖人方の生涯をお書きになります。私たちがそれらを読んで、神の驚くべきみ業を賛美することができるように。

死とその向こうにあるものを無視しない存在について理解することは、完全な人間の生活の一部をなしています。死について考えることは、私たちが眞の存在とは何かを理解することを助けるはずで、眞実に生きることとは、私たち自身の可能性を理解すること、その時の要求に応えること、与えられた時間の中で、いついかなる時にも人生の挑戦に応えることを意味しています。

聖人方を信じることは、ただ彼らのうちに神の現存を感じ取るという意味ではないのです。

自由な行いというものは、私たち一人一人が自分自身でしなければならないことであり、他人と一緒ににはできないものです。それゆえ、私たちは各々、自分自身に対して、そして他のすべての人々に対して、責任を負っています。それでありながら、この相互責任は共同体を最高の度合いにまで築き上げます。それに支えられて、教会が立っているのです。

キリストの内にのみ、神の愛の完全な豊かさが人格化されています。キリストこそ、神の御前にあるすべての人々の唯一の代表者であり、共同体の眞の頭として一つである教会を結び合わせています。他のすべては、霊と生命によって彼らに与えられたものに応じて、教会の中で絆を作っていくのです。

私たちは自分自身の救いについて責任があります。そして同時に、祈りという自由選ばれた行いによって、他のすべての人のために慈しみを願い求める機会を持っている限りは、他のすべての人々の救いについても責任があります。

恵みは人間の靈魂に下る神の霊です。それは、自由に喜んで靈魂の中に迎え入れられるのでなければ、靈魂の中に場所を見出すことができません。

神の愛と恵みが無限であると信じることは、贖いの普遍性に対する希望が正しいものであることを証明しています。けれども、恵みに対して抵抗してしまう可能性は本質的には残されたままになっています。そのために、永遠の滅びの可能性も残っているのです。

人間の自由は、神の自由によって奪かされることも、捨て去られることもありませぬ。けれども、出し抜かれることはあり得ます。人間の靈魂に恵みが下るのは、神の愛が自由に行くことなのです。そして、その恵みが広がっていくことには、何の限界もありません。

恵みによって内面的に触れられないならば、私たちは恵みを目の前にしているときでさえ聖性を見ることはありません。けれども、恵みが私たちの内面で光を輝かせるなら、すぐに私たちの目は開かれ、聖なるものが私たちの目に見えるものとなるのです。

自己をおまかせすることは、自由の中でももっとも自由な行いです。

神の子どもとなることは次のことを意味しています。すなわち、小さくなること、そして同時に大きく成長すること、キリスト者の生き方の広さにまで成長していくために、自分の生き方の狭さを捨てることです。

祈りと犠牲は、私たちが口にすることのできるどんなことよりもずっと重要であり、絶対に本質的なことです。選ばれた道具であること、恩寵の状態にあることはまた別の問題ですが、裁くことは私たちのすることではありません。私たちは、神の計り知れない慈しみに信頼しなければなりません。けれども、それがために、死に対する恐れと、後の世について、無頓着になつてはなりません。

長い生涯をすごした後に、自分がまだ素人で初心者であると自らに言わなければならぬとしても絶望すべきではありません。神の小羊のみ心からあふれ出す泉は、まだ干上がつてはいないのです。

* * * * *

この記事は、ケルン・カルメル会の Sr. マリヤ・アマータ・ナイヤーが編集し、聖女エディット・シュタインの姪に当たるスザンヌ・バツドルフさん（米国カリフォルニア州在住）が英訳された An Edith Stein Daybook: To Live at the Hand of the Lord (Templegate Publishers, Springfield, Illinois, U.S.A.) の中から、出版社の許可を得て、抜粋・邦訳したものです。

エディット・シュタイン（十字架の聖テレジア・ベネディクタ）略歴

1891年10月12日にプレスラウにユダヤ人として生まれ、1922年1月1日にベルクツアーベルンのカトリック教会で洗礼を受けた。フッサールの門下生として、哲学、女子教育の分野で活躍した後、1933年10月14日にケルンの跣足カルメル会に入会、十字架のテレジア・ベネディクタの名を受ける。1938年末、ナチの迫害を逃れてオランダのエヒト・カルメル会修道院に移るが、1942年8月2日、ナチに逮捕され、同年8月9日アウシュビッツにて殉教の死を遂げる。1987年5月1日教皇ヨハネ・パウロ二世により列福、1998年10月11日、同教皇により列聖。1999年10月1日、シエナの聖カタリナ、スウェーデンの聖ビルジッタと共に、ヨーロッパの保護者と宣言される。

(西宮カルメル会 訳・編)

『対神徳』

～ 愛 (2) ～

「人を愛するものは律法をまっとうしているのです」(ローマ13,8)

チプリアノ・ボンタッキョ神父

愛があれば掟はもういらないとパウロは何度も繰り返しています。

たとえば「愛はすべてを完成させる絆です。」(コロサイ3,14)、「愛によって互いに仕えなさい。律法全体が隣人を自分のように愛しなさいという一句によってまっとうされるからです。」(ガラテア5,14)

さらにパウロはローマ書において、なぜ愛する者が律法をまっとうしているかということの理由を次のように説明しています。「人を愛するものは律法をまっとうしているのです。姦淫するな、殺すな、盗むな、むさぼるな、その他どんな掟があっても、隣人を自分のように愛しなさいと言う言葉に要約されます。愛は隣人に悪を行いません。だから、愛は律法をまっとうするものです。」(ローマ13,8-10)

確かに人間関係において愛があれば他のどの掟も無用となります。この相互の愛は、初代教会の共同体の中にみられたように「心も思いも一つにし、一人として持ち物を自分のものだと言うものもなく、すべてを共有していた」(使徒言行録4,37)という結果をもたらします。愛そのものであられる聖霊が降ったその日に呼び集められた共同体が愛に満ちていたので、「心も思いも」一つにすることができ、またすべてを共有にすることができたのです。

また、愛があれば「互いに忍びあい、責めるべき所があっても許しあう」(コロサイ3,13)ことも可能になり、さらに「互いに重荷を担う」(ガラテア6,2)こともできるようになります。

「隣人を自分のように愛しなさい」という一句に律法全体が含まれているからイエス様はこの掟だけ遺してくださいました。(ヨハネ15,12・17)

「私があなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これが私の掟である。」……

「互いに愛し合いなさい。これが私の命令である」と。

2002. 9. 15

(在俗者集会講話)

断層 (174)

魂の子守歌

いつだったか、ある夏の口、京都駅の階段を降りながら
すぐ前に行く若者の後ろ姿の、薄汚れたシャツに書かれた
言葉を今も折々思い出す。

Unless you make others happy,

you can never be happy yourself.

下手な我流の日本語に訳せば

「(他)人を幸福にすることができない限り、(自分)自身決して
幸福になれない」

一瞬 グッと胸に刺さるような言葉だった。

今も、その見知らぬ青年の後ろ姿までほんのりよみがえる。

人間の知恵はどこからくるのだろうか？ あの一人の青年？あの薄汚れた
夏シャツ？ 身に沁みる一言？ それも英語で？ 知らない国の人か？
見知らぬわたしに話しかけてきた。それも、声なき声で。コンピューター
よりも、E. MAILより、美しい歌声で。ともあれ、良いものは、
すべて天上の父なる神からくる。(ヤコブ. 1. 17)

そして、天から降る。そして、地から湧き出る水となって、魂の賛歌
となる。しかし、人間の歴史は甘くない。生きるよりも死ぬ、生かすよ
りも殺す現実がその歴史を覆ってきた。

一人の青年のシャツに、そんな人類の痛みが感じられた。

自分の貧しさを知る人は幸いである。天の国はその人の者だからである
(マタイ. 5. 3 フランシスコ会訳)

32
25

2002年度 東京カルメル在俗者会 黙想会

場 所 カルメル会上野毛聖テレジア修道院（黙想）

日 程

ご指導

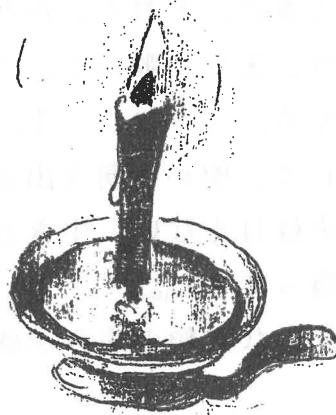
- ・ 5月31日（金）夕食 ～ 6月 3日（月）昼食 チプリアノ神父様 了
- ・ 8月12日（月）夕食 ～ 8月15日（木）昼食 アロイジオ神父様 了
- ・ 9月28日（土）夕食 ～ 10月 1日（火）昼食 星野 正道神父様
- ・ 12月19日（木）夕食 ～ 12月22日（日）昼食 チプリアノ神父様

（神父様のご都合で11月の黙想会が12月に変更になりました。）

☆空きがある場合には、一般の方も参加できます。おたずねください。

☆お申し込み、お問い合わせは下記まで

TEL・FAX 03-3892-1378（阿部 昌子）



ヘンリ・ナーウエンの『旅路の糧』(49)

よく死を迎えること

私たちはみな、いつか死を迎えます。それは、私たちにとって疑い得ない数少ない確かな事柄の一つです。しかし私たちは、よく死を迎えようとしているのでしょうか。これは、あまり定かではありません。よく死を迎えるということは、他者のために死ぬこと、後に残す人々のために私たちの人生を実り豊かなものとすることを意味しています。したがって、主な問いは、「私は、残された日々はまだ何ができるか」ではなく、「いかにして、私の人生が、私の後に続く世代に、実り豊かなものとなるように、私の死を準備できるか」ということになるでしょう。

イエスは、よく死を迎えました。それは、死を通して愛の霊を彼の友に送り、彼らがこの聖なる霊と共によりよく生きることができるようにしたからです。私たちも、この世を去る時、愛の霊を、後に残す私たちの友に送ることができるのでしょうか。あるいは、「私」にまだできることは何かと気をもみ、神経をすり減らしているのでしょうか。私たちが、よく死を迎えるよう準備するならば、死は私たちにとって最大の贈物となり得るのです。

(0210)

人生の秋

秋の葉は、そのすばらしい色彩で私たちに圧倒します。深紅、紫、黄色、金色、青銅、それらの色調の無数の変化と結合。そして、しばらくの間、えもいわれぬ美しさを見せてくれた後、それらの葉は、地に落ち、死にます。裸の木々は、冬が間近であることを告げています。同様に、人生の秋も、きわめて色彩豊かであり得るのです。人生の知恵、ユーモア、用心、忍耐、喜び等が、死ぬ直前に、見事に輝くのです。

私たちが裸の木々を見、亡くなった人々を思い出す時、彼らの中に垣間見た彼らの人生の美しさに感謝しましょう。そして新しい春の訪れを希望の内に待ちましょう。

(0329)

九里 彰訳

年間第31主日

あなた方の教師はキリスト一人である

(マタイ23:1～12)

今日の福音においてイエスはキリスト教的教育の精髓を与えておられます。真の教師は自分に人を引き付けるのではなく真理へと人を導くものです。さらに言うとキリスト者の教師は生徒をイエスとの直接的関係に導きえたとき、はじめて仕事に成功したと言う事ができます。イエスは私たちの自己義化に挑み、罪を赦しました。キリスト者として、目的は人を主との個人的出会いへと連れて行くものです。教育は、教育された人が教育者なしで唯一の主の内的導きのもとに完全な自由を持って人生を歩めるとき、その目的を達するのです。私たちは皆御父の子供ですが、しばしば他人が自分より劣っていると考えてしまいます。優越感の本能が何であるか、私の奉仕が何であるか考えてみましょう。

芸術家がイエス・キリストを、ランプを手にして家の戸を叩いている巡礼者の姿に描きたいと思っていました。絵は細心の注意をもって何日もかけて完成しました。画家の息子が絵を眺めてある事に気がつきました。「パパ。とてもきれいな絵だけれど、戸の取っ手がないよ。」息子がこう言うの聞いて、父は答えました。「これはね、わざとそうしたんだよ。取っ手は中にある。イエスは心の戸を叩くが、中の人が入りたいと思わない限り入らない。中の人が開けてイエスを入れなければならないんだよ。」

自分の過去を振り返り、日々の行いが天国への助けになっているか判断しましょう。神を称え、永遠の命を得るとの意図でなされたのなら、助け、しかも本質的な助けであった事でしょう。世間的、個人的な野心のためになされたのなら、せいぜいで時間の無駄、もしかしたら神と神の目的から自分を締め出す事にさえなりかねません。画家の話に戻り、イエスに心の戸を叩くことを赦しているかどうか調べましょう。

第2朗読のテサロニケ人への手紙を見習いましょう。人生のどの瞬間においてもキリスト教信仰が働いているようにしましょう。私たちの生活は平凡なものでしょう。しかしながら適切で正しい意図でなされるならその終わりは並外れたものとなるでしょう。神がその善良さの中で私たちに用意なさっていた永遠の幸福の中に入る事になります。

(Beatrice)

年間第32主日

分け与えられないものを分け与えようとする神

(マタイ25:1~13)

今日の福音は十人の乙女のたとえです。主の到来があかりを手にして花婿を出迎える乙女にたとえられています。5人の乙女は賢くて、あかりと予備の油を持っていました。残りの5人は愚かで予備の油を用意していませんでした。花婿の到着が遅れて愚かな乙女たちのあかりが消えそうになりました。賢い乙女たちに油を分けてくれるように頼んだのですが、断られ、油を買いに行くうちに花婿が到着してしまい、戸が閉められてしまいました。婚宴の席に入れたのは賢い乙女たちだけでした。

賢い乙女たちが「油は分けてあげられるほどありません。それよりも買いに行ったほうがよいでしょう」と言って断ったのは冷たく響くかもしれません。しかしながら世の中には分けてあげられないものが確かにあります。能力そのもの、個性、性格などです。人格に関わるものは分けてあげる事ができません。その人そのものだからです。神との関係もそうです。隣人に色々親切な事をすることはもちろん可能だし、神の恵みを隣人のために取り次ぐ事もできるかもしれません。しかし神との関係そのものを分け与える事は不可能です。賢い乙女たちの所有していた予備の油が象徴するものは神とのよい関わりと言っていいでしょう。

神とのよい関わりの最たるものは聖霊の充満です。聖霊は油で象徴されるときがありますから、私の比喩的解釈も許されるでしょう。ランプの中の油が洗礼、堅信等で与えられる通常の聖霊の注ぎだと取ると、予備の油が聖霊の充満になります。上智などの聖霊の賜物、また喜び・平和などの聖霊の実りは聖霊の充満のしるしです。通常の生活では聖霊の充満があるかどうかわかりません。花婿の遅れによって聖霊の充満の欠如が暴露されてしまいます。「光」は借りられても、「油」は借りられません。愛は分け与えられるが、愛である人そのものは分け与えられません。これは代価を払って当人が獲得しなければならないものです。代価とはキリストのうちに自分自身を失う事です。主は「自分の命を救いたいと思うものはそれを失うが、私のためまた福音のために命を失う者はそれを救う」(マルコ8:34~37)と言いました。

しかしながらまず主が、まだ罪人であった私たちのために死んでくださったのです。そこに神の愛があります。神は愛であり、愛の充満があふれ出て、御独り子の受肉が起こりました。そして御子の受難と復活にあずかる事によって、私たちは三位の神の交わりへと招かれています。世の終わりにはそうなります。溢れるばかりの愛の充満から始まった神の救いは、愛の充満に人間を入れることによって終わります。三位の中の愛の充満はそのままでは人間に分け与えられないものでしたが、神の御独り子の自己犠牲によって可能となりました。分け与えられないものを神は分け与えようとするのです。だから私たちも出来る限り与えなければなりません。受けるより与えるほうが幸いです。神を人を惜しみなく愛する事により神との関係をよくし、そしてさらに主に自分を明け渡すことによって聖霊の充満がいただけるでしょう。

(新井)

年間第33主日

私たちは神の国のために才能をどう用いたかによって裁かれる

マタイ25:14～30

真面目に生きるキリストの追随者にとって、今日のたとえば勇気と慰めの使信となります。私たちの旅する道はしばしば障害に満ちているように見え、戦いは終わらないかのようです。しかし神は私たち一人一人に最後の勝利を保証する助けを与えてくださっています。この助けは各人の必要に応じて与えられます。たとえの中の5タラントと2タラントを受け取った召使たちは忠実にうまくそれを使いました。1タラントを受けた者も忠実な召使であれば成功した事でしょう。

永遠の幸福は地上での忠実な奉仕の報酬です。神は私たちの永遠の利益を心にかけてくださる優しい父親です。その神が私たちに必要な犠牲を期待しておられます。神はカルバリオへの道を私たちに示しました。神のために働くとき私たちは自分の未来に備えていることになるのです。賢明になり、時間のあるうちに生活を変えましょう。そうすれば清算の日に私達の帳簿は黒字になるでしょう。

なぜなら持っている者はますます与えられ、持っていない者は持っているわずかの物までも取り上げられるからです。これは残酷で不正であるように響きます。しかしよく考えてみると、背後にある真理がわかります。物質世界にタラント(才能)があります。それは養い育て、用いるなら成長します。音楽、歌、美術、スポーツなど皆そうです。大切にしなかったら、才能をまったく失ってしまう危険があります。

神は私たちすべてに十分な才能を与えてくださっています。大半の人々は自分の宝に気がついていません。自分の中にある宝を見出すように努力しなければなりません。他人に比べて才能が乏しいと思い、神の御前で劣等感を覚える事はありません。人間本性は他人と競争したがるものであり、競争が現代社会の不安のもととなっています。私たち競争するために生まれてきたのではありません。

霊的世界においても、愛する才能、赦す才能、理解する才能、慈悲深くある才能があります。私心なく与えれば与えるほど、私たちは豊かになります。神の恵みに欠けるものはありません。それならば私たちに愛する才能を特に用いるのを妨げるものがあるのでしょうか。

(Beatrice)

王であるキリスト

「これらの最も小さな者の一人」

(マタイ 25 : 31 ~ 46)

今日の福音は最後の審判の場面を描いています。すべての民族に属する人々が王の前で裁かれます。王が彼らを羊と山羊に分けます。王はキリストです。さてその審判の基準ですが、「私が飢えていたときに食べさせ、渴いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢屋にいるときに訪ねてくれた」人が羊であり、神の国に入り、永遠の命を得ることが出来ます。彼らが、いつ主にそのような事をしたかと尋ねると、「これらの私の兄弟、しかも最も小さな者の一人にしたのは私にしたのである」と答えがありました。一方、永遠の火に入る人々は「これらの最も小さな者にしなかった」ことが理由です。

さて、この「これらの最も小さな者の一人」は誰を意味するのでしょうか。聖書を学んでいるときに、福音記者のマタイの本来の意図では教会員の中で最も小さい人を指すと知り、かなりがっかりしたのを覚えています。その説明は説得力がありました。マタイ 24 章、25 章の聞き手は弟子たちであり、弟子たちは兄弟です (23 : 8)。何よりも 10 : 42 に「私の弟子だからと言う理由でこの小さいものの一人に冷たい水一杯でも飲ませる人は、必ずその報いを受ける」とあり、25 : 31 ~ 46 も同じ意味であるはずだからです。「牢にいたとき訪ねてくれた」というのは迫害で牢に入れられている弟子たちを指すと考えられます。パウロがダマスコ途上でキリストに「サウロ、サウロ、なぜ私を迫害するのか」と語りかけられたのもこの延長上にあることとなります。パウロはキリストを信じる人たちを迫害していたからです。

現代では「これらの最も小さな者」をキリスト者に限定せずに解釈する人が多いと思います。その最もすばらしい例はカルカッタのマザーテレサです。「貧しい中でも最も貧しい人々の姿でおられるイエスに仕えることができますように」と祈るようにマザーは、神の愛の宣教者会の会員に教えました。彼女はカルカッタで死を待つ人の家を始め、路上で死にかけている人たちを運んできて介抱してあげ、人間らしく死んでいけるように配慮しましたが、運んできた貧しい人にしてあげる事の一つに、その宗教をきく事がありました。カルカッタにはヒンドゥー教徒だけでなくイスラム教徒、そして少数ながらキリスト教徒もいます。彼らが信じる宗教に従って葬ってあげるためです(ヒンドゥー教は火葬、イスラム教は土葬)。人間の尊厳を守るということです。マザーテレサは、ヒンドゥー教徒がよりよいヒンドゥー教徒に、イスラム教徒がよりよいイスラム教徒に、カトリック者がよりよいカトリック者になるように助けなさいと教えてきました。この寛容な姿勢がなかったなら国葬の榮譽(完全にカトリック式の葬儀でした)を受けることはなかったでしょう。

マザーテレサは「これらの最も小さな者の一人」が誰を指すのか行動で示してくれました。

(新井)

バカの神学／悪の神学（2）

嶋崎 浩樹（カルメル会）

2. 悪の神学

よく、「あの人は良い信者だ」とか言ったりします。でも良い信者ってどんな人を皆さんは思い浮かべるのでしょうか？毎週欠かさずミサに出て、よく聖堂で祈り、教会の仕事もこなす人、などを思い浮かべるのではないのでしょうか？たしかに、ある側面から見れば、そのような人はすばらしいかもしれませんし、見習う必要もあるでしょう。でも見かけは、どんなにりっぱなことをして「良い信者」だと思われても、内面的が良くなければ元も子もありません。また、教会の掟だけを必死に守ろうとして、周りの人のことを顧みなければ、イエス様のもっとも嫌っていた律法主義に陥ってしまう危険性も隠されています。「良い信者」と言われる人には、そのような危険性もまたはらんでいるのです。たとえ、何らかの事情で、教会に来ることができない人であっても、また家庭の事情などで教会の活動に協力することができなくても、一生懸命神様を求め、神様を信頼し、神様にすべてを委ねつくして生きていこうとしているのであれば、そちらの方がよりすばらしいし、より福音宣教を行っていると言うことが言えるかもしれません。

もう一つ、「良い子（良い人）」という言葉にも問題があります。「良い子」という場合、清廉潔白で、まじめで何でも素直にやると言うイメージが浮かんでくるのではないのでしょうか？でも、良い子になるというのは、自分が本来持っているものを変えてまでも、人が喜ぶ姿に変えていくということです。たとえば、子供が親の気持ちや希望を酌み取り、親の望む学校に行ったり、就職した場合、見かけはたしかに親孝行で良い子に違いありません。でも、そのような子は、どこかにひずみを抱え、また無理をしていて親の見えないところで、とんでもないことをしたりする場合があります。ストレスのはけ口として、暴走族に入るとか、売春をすとかいった行動に出たりする場合があります。またそのようなことをしないまでも、何らかのきっかけで爆発して人格が変わったように怒ったり（いわゆるキレたり）、また極度に落ち込んだりする場合があります。

「良い子」に対して、「手を焼く子供」とか、周りから見て「悪いやつ」だと思われている人の方が、自己主張をしているのではないかと思います。ただし、ここで言おうとしているのは、「犯罪を犯して人の迷惑をかける」と言うものではありません。そうではなくて、自分の本来持っている性質、本質をもっと遠慮なく出すということです。みんな一人一人、神様から造られたわけだし、神様が造られた以上、完全なものに違いないのです。その人間の本来の本質（魂）を見つめるようにし、一人一人がその人らしく生きることが本来望ましい人間の生き方なのです。

ですから、「良い子」になるのではなく、良い意味でどんどん「悪い子」になって、自分の本来の姿を探し求めましょう。

すべてを尽くして神を愛する

心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、
あなたの神である主を愛しなさい。

(マタイ 22・37)

「聖書に数ある掟の中で、一番大切なのはどれか」というテーマは、イエスの時代、律法学者の間でよく議論されたことでした。師であるイエスは、「どの掟が律法の中で最も重要でしょうか」という質問に対し、はぐらかすことなく、お答えになります。彼の答えは独特で、神への愛と隣人への愛を一つに結ぶものでした。イエスに従う者は、この二つの愛を決して切り離してはならないのです。木の茂みの部分と根の部分とを切り離して考えられないのと同じです。私たちが神を愛すれば愛するほど、兄弟姉妹への愛は一層強くなっていき、また兄弟を愛すれば愛するほど、神への愛も深まっています。

私たちが愛すべき神が本当はどんな方か、私たちはこの神をどう愛すべきか、イエスは他のだれよりもよくご存知でした。神は、イエスの父、私たちの父でおられ（*1）、一人ひとりを個人的に愛してくださいます。神は私を愛し、あなたを愛しておられます。（「あなたの神である主を愛しなさい」とあるように）“私の”神、“あなたの”神でおられるのです。

神は私たちが先に愛してくださったので、私たちも神を愛することができます。ですから、私たちが神に差し出すべき愛とは、愛である神に私たちがこたえることです。イエスが「アバ、父よ」と呼ばれたような親しみと信頼を持って、私たちも神に向かうことができるでしょう。私たちも、イエスのように、しばしば神と語り、自分に必要なことを打ち明けたり、決意や計画を話したり、だれよりも神を愛していることを繰り返し伝えたりできるでしょう。また私たちも、神との深い交わりを持つために、祈りの時が待ち遠しくなるでしょう。祈りは、神との対話、親しい交わりのひとときです。その時私たちは、神へのあふれる愛を注ぐことができます。自然の彼方に神をたたえ、世界のあらゆる場所に存在される神をあがめ、私たちの心や聖櫃せいびつの中におられる神を賛美することができます。また、自分の部屋や職場、オフィスにいる時も、他の人たちと一緒に過ごす時にも、神が共にいてくださ

ることを思い起こします。

「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、
あなたの神である主を愛しなさい。」

主である神を愛するため、イエスはもう一つの方法も教えてくださいました。イエスにとって、“愛する”とは、思いも心もエネルギーも、命すらもかけて“御父のみ旨を果たす”ことでした。イエスは、御父が持っておられたご計画のために、ご自分のすべてをお与えになったのです。福音には、イエスが常に完全に御父の方に向かっておられた（*2）姿が描かれています。イエスは常に御父の内におられ、御父から聞いたことだけを語り、御父から言われたことだけを成就されました。私たちにも、同じことが求められています。愛するとは、愛するお方の望みを果たすことです。それも中途半端ではなく、私たちのすべてを尽くし、「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして」果たすのです。愛は感情だけに終わるものではないからです。「わたしを『主よ、主よ』と呼びながら、なぜわたしの言うことを行わないのか」（*3）と、イエスは、口先だけで愛する人々に問われます。

「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、
あなたの神である主を愛しなさい。」

このようにイエスが命じられることを、私たちはどう生きればいいのでしょうか。親に対する子のような親しい関係を、神との間に持つこともできるでしょうが、何よりも、私たちが神のお望みを果たすことにより、このみ言葉を実践できるでしょう。私たちはイエスがされたように、ただ御父の望まれることだけを果たすため、常に御父の方を向き、御父に耳を傾け、御父に従順であることができるでしょう。

このように生きるため、私たちには、本当に徹底的な姿勢が求められます。神には“すべて”を差し出す必要があり、それ以下はありません。心の“すべて”、精神の“すべて”、思いの“すべて”が求められるのです。これは、神が私たちに望まれることを、完全によく果たすことを意味します。

神のみ旨を生き、み旨と一つになるためには、自分の意志を燃やし尽くすことが、しばしば必要になります。今の瞬間と関係のないものが心や頭に浮かんでくる時、（何かのアイデア、感情や考え、思い出、物や人など）すべてをわきに置くことで

す。

こうして私たち皆が、今の瞬間に求められることに集中できるでしょう。話すこと、電話をかけること、人の話を聞くこと、手助けすること、勉強、祈り、食事や睡眠をとることかもしれませんが、脱線せずに、神のみ旨を生きることです。一つひとつの行いを、心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、欠けることなく、しっかり完全に果たしましょう。何をするにしても、“愛”が唯一の動機となるようにしましょう。そうすれば私たちは、一日のどんな時にも、「神様、今、この行いを通して、私は心を尽くし、自分のすべてを尽くして、あなたを愛しました」と言えるでしょう。こうしてはじめて私たちは、“神を愛している、私たちを愛される神の愛にこたえている”と言えるでしょう。

「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、
あなたの神である主を愛しなさい。」

神が、私たちの魂の中で、第一の場所を占めているかどうか、時折振り返ってみるのも、このいのちの言葉を生きる上で役に立つでしょう。

では今月、私たちはどう生きればいいでしょうか。神を唯一の理想・人生のすべてとして選び直し、第一の場所に置き直しましょう。そして、今の瞬間に完全に神のみ旨を果たしましょう。「私の神、私のすべてよ」「あなたを愛します」「私のすべてはあなたのものです」「あなたは神。私の、私たちの、限りない愛の神でおられます!」と心から言うことができるように。

キアラ・ルービック

- * 1 ヨハネ 20・17 参照
- * 2 ヨハネ 1・18 参照
- * 3 ルカ 6・46 参照

フォコラーレ本部

〒168-0071 東京都杉並区高井戸西 1-11-4

Tel. 03-5370-6424 Fax. 03-5370-3055

よあけ

皆さんは、夜中に目が覚めて、そのまま寝なおせないことがあるでしょうか。私には時々あります。そんな深夜から、ずっと思い続けていることを分かち合って頂けたらと思います。

深夜の午前三時ぐらいに目が覚めた私は、明かりをつけると余計に目が覚めてしまうので、暗がりの中でボーっとしていました。こんな時、人間ろくなことを考えないものですね。私は、自分の健康や将来などについて考え、不安や孤独を感じ始めました。『主よ、全てをお委ねします』とどんなに心の中で叫んでも、暗闇と静寂の中に、自分の祈りさえ呑み込まれてしまいそうな深夜……。こんな時にはつい、『生きるって本当に辛いなあ』と思ってしまいそうです。皆さんにもそんな風に思うことはありませんか。良かったら、暗闇の中で、あなたのお心を、私にも共有させて下さいね。

さて、その眠れない深夜、私は、どういうわけか、ふと、自分が生まれる前のことについて思いました。あと数日もすれば生まれる、すでに赤ちゃんの形になっている、とても小さくて壊れてしまいそうな自分のことを想像したのです。そして、生まれる直前の赤ちゃんの自分が、大人になった今の私に、こんなことを訊ねて来ます。

「ねえ、生まれて来たら、いろいろと辛いことがあるんでしょ？」

赤ちゃんの自分は、どうもちょっと心配そうなのです。もし皆さんが、生まれる前の可愛い赤ちゃんの自分にこう訊ねられたら、どんな風に答えをあげるでしょう。きっと、皆さんが今どのようなお心でいるかということによっても、答え方は変わって来るでしょうね。私は、生まれる前の赤ちゃんの自分に、色々とお話していました。

そんな不思議なことを思いついた私は、もっと後になって、こんなことをさらに空想しました。自分が腕に抱いている生まれる前の赤ちゃんの私は、いつのまにか、生まれる前の小さなイエス様になるのです。

小さな赤ちゃんのイエス様は、私にこう訊ねます。

「ねえ、生まれて来たら、いろいろと辛いことがあるんでしょ？」

小さなイエス様は、さっきの赤ちゃんの自分のように心配そうではありません。つぶらな瞳をきらきらと輝かせて、にこにここと訊ねて来るのです。皆さんなら、どんな風に赤ちゃんのイエス様に答えるでしょう。私は困ってしまいました。こんな可愛い小さな赤ちゃんのイエス様に、あの恐ろしい十字架の受難についてどうやってお話ししたらよいのでしょうか。私は、泣きそうな気持ちで、ただただ、小さなイエス様を、自分の腕の中に抱きしめるしかありません。そうしたら、小さなイエス様は、可愛い顔をちょっと赤らめて微笑んで言うのです。

「あのね、ぼく、知ってるよ……。」

私は、何も言えず、赤ちゃんのイエス様を抱きしめるしかありません。赤ちゃんのイエス様のやわらかい感触とぬくもりを自分の心臓に感じます。小さなイエス様はまた訊ねて来ます。

「ねえ、生まれてから、『辛いこと』がある時、ぼく独りぼっちなの？」

今度ばかりは、私も黙っていられなくなって言います。

「あなたは独りぼっちではありません……あなたのことを愛してる人達がたくさんいます。私もその一人です！」

『私もその一人』と言う時、私は少しドキドキします。でも、それを聞くとイエス様は、私の腕の中で安心しきった様子でスヤスヤと眠ってしまったようです……。

小さなイエスさまと、小さな私、そして小さなあなたが、小さな手に手を取って、新しい一日に生まれる、そんな夜明けは、もうすぐです。
あなたは独りぼっちではありません……。

丸山知佳子

(25)

蛭田幼一

一九九八年九月二十一日

こういうことかな。きみはマグワイアや中田や松坂は梅雨空を吹き飛ばしたのだと考えている。しかるに梅雨空を吹き飛ばせない我々が強く、遅しく生きるとは如何なることか、と。僕の場合はこうだ。彼らとて梅雨空を吹き飛ばせないのだ、と。尤もきみも梅雨空はなくなるとは言っていたが。ある面では慥かに吹き飛ばしたように見える。でも、ある面でだけだ。人生を生きる、というフィールドでは、彼らとて励ましが必要なのだ。「強く、遅しく生きよ」と。



諸所の企画についてのご紹介

ノートルダム・ド・ヴィ

場 所：〒177-0044 東京都練馬区上石神井4-32-35 Tel(03)3594-2247

*いのちの泉へ -カルメルの靈性に学んで、祈りの道を歩みたい人々のための祈りの集いです。若い方々のための祈りと信仰生活の基礎についてのグループ。

お子様連れの方は、集いの間（3歳～12歳程度）のお子様をお預かりします。

講話：伊従信子・片山はるひ（ノートルダム・ド・ヴィ会員）

プログラム：第一部 午後2時から 講話、祈り、お茶&分かち合い

第二部 午後5時から ミサ、夕食、祈りの夕べ（8時頃終了）

参加費：一部のみ200円・二部までは500円

申し込み：電話(18:00-21:30)・Fax(03)3594-2254またはTel(03)3594-2247まで

詳細は電話でお尋ね下さい。電話（18時～21時30分）

スズランハウス

女性のアルコール依存症、やせ症、摂食障害の経験者とその家族のためのウェルビーイングを研究開発実践する施設。：詳細を知りたい方は、下記へ

〒192-0041八王子市中野上町4-27-4 TEL 0426-28-3222 井口 貴志

風の家

指 導：井上 洋治 師（東京教区司祭）

〒169-0042 東京都新宿区西早稲田 3-17-23-903 TEL 03-3204-4453

山根 道公 機関誌『風』編集者

*新住所 〒700-0808 岡山市大和町1-11-17

Tel・FAX 086-227-5665 詳細はお電話でお尋ね下さい。

生命山カトリック別院

〒865-0133熊本県玉名郡菊水町蜻浦1391-7 TEL.0968-85-3100

黙想会 指 導 フランコ神父

*ご聖体の神秘と茶道

祈りの集い 指 導：シスター マリア、フランコ神父（10:00～15:00）

*年間 テーマ「キリストに出会った人々」

2002. 11/14. 12/12 （木）

研修会 テーマ 「宗教対話の靈性」 フランコ神父

宗教対話活動 熊本地区宗教対話研修会グループ

このほか、個人、グループでも静修、黙想会などができます。（宿泊8名迄可）

ご相談ください。申し込み。TEL0968-85-3100 FAX0968-85-3186

瞑想の家 東 光 庵

指 導：ヨハネ・ウマンス師（神言会） *詳細問い合わせは電話で

場 所：〒166-0004 東京都杉並区阿佐ヶ谷1-38-13 TEL 03-3336-0735

三位一体の聖体宣教女会 東京修道院

場所：〒189-0003東村山市久米川町1-17-5

TEL.042-393-3181 FAX 042-393-2407

黙想会「聖書で祈る」 指導：雨宮 慧師（東京教区司祭）対象：一般信徒

2003, 2月22日（土）5:30pm～23（日）4:00pm

6月28日（土）5:30pm～29（日）4:00pm

10月25日（土）" 26（日）"

2004, 2月21日（土）" 22（日）"

祈りの集い：神が下さる私の道 指導：星野正道師（カルメル会）

対象：男・女青年信徒

2003, 2月11日（日）10:00am～5:00pm

5月18日（日）10:00am～5:00pm

10月19日（日）10:00am～5:00pm

2004, 2月8日（日）" "

黙想会

指導：星野正道師（カルメル会） *対象、一般信徒

* 2002, 10月29日（火）を 10月28日（月）に変更 10:00am～4:00pm

2003, 5月19日（月）10:00am～4:00pm

10月20日（月）10:00am～4:00pm

年の黙想会

指導：奥村一郎師（カルメル会） *対象 修道女

2002, 12月26日（木）5:30PM～2003.1月4日 朝食後解散

指導：星野正道師 *対象、修道女

2003, 7月23日（水）5:30pm～7月31日 朝食後解散

指導：雨宮師（東京教区司祭）対象：修道女

2003: 12月26日（金）5:30pm～2004.1月4日 朝食後解散

キリスト教講座 カトリックの教えを学びたい方

日時：毎週木曜日 10:00am～11:30am

十字架の使徒職の集い *対象：信徒

洗礼よる司祭職に生き、司祭のために祈る

期日：第1グループ 毎月第2金曜日(2:00Pm.～3:30Pm.)

第2グループ 毎月第1木曜日(2:00Pm.～3:30Pm.)

両グループ*司祭のために聖体礼拝を捧げます(1:30Pm～200Pm)

マリアの御心会

場 所：〒160-0012 東京都新宿区南元町6-2

TLE. 03-3351-02

1. 聖書深読黙想会 : 毎月第二日曜日 対象: どなたでも
2. 詩編: 毎月第一火曜日 (第一火曜が祝祭日に当たった場合は第二火曜日)
3. ヨハネ福音書: 五月で詩編が終わり、六月よりヨハネ福音書に入ります。同じ第一火曜日です。ご自由にご参加下さい。
4. 祈りの集い : 毎月第三土曜日 18:00~20:00.
5. 「来てみなさい」結婚、修道生活、独身生活を選定したい方、自分の人生について考えたい方
対象: 20代、30代の未婚女性 参加費: 500円 (弁当持参)
(10:00~16:30)ミサあり。
* 毎月指導者が変わります。お問い合わせ下さい
10/27 (日) これがあなたの母です (ヨハネ19:27)
11/24 (日) イエスの渴きをいやす
12/15 (日) すべてにおいて神を見出だす
2003. 1/26 (日) わたしはもうあなたたちを僕とは呼ばない、友と呼ぶ
2/23 (日) 何でもこの方の言う通りにして下さい (ヨハネ2.5)
3/23 (日) 彼らをこの世から取り去ることなく悪から守って下さるように、と、私はお願いします (ヨハネ17.15)

聖心会黙想の家

場 所：〒410-1126静岡県裾野市桃園 198 Tel&Fax. 0559-92-2120

祈りの集い (問合せ・申込は聖心黙想の家まで電話/FAXで!)

- 午後のひととき、静かに過ごしてみませんか?

黙想会のお問い合わせ・お申し込みは: 165-0033東京都中野区若宮3-9-4

若宮共同体 TEL. 03-3337-3291

『心のいほり、内観瞑想センター』 代表 藤原直達神父 (大阪教区司祭)

〒572-0001 大阪府寝屋川成田東町3-27

* TEL/FAX 072-802-5026 携帯 090-2401-9374

* 活動内容。定期的に各地で内観黙想の同行指導と講演。日本的な瞑想法と、自己発見、癒しの方法としての内観瞑想の普及。同行司祭は藤原神父です。

* 希望者は手紙かファックスで問い合わせてください。電話では取り次いでおりません。

2002. 10/27 (日) 2時~11/2 (土) 2時まで、兵庫、宝塚売布
11/11 (月) 10時~11/16 (土) 2時まで、京都・竜安寺前
12/9 (月) 10時~12/14 (土) 2時まで、鹿児島・溝辺
12/23 (月) 10時~12/28 (土) 4時まで、横浜・戸塚
2003. 1/12 (日) 2時~1/18 (土) 2時まで、兵庫、宝塚売布
1/27 (月) 10時~2/1 (土) 2時まで、横浜、戸塚
2/9 (日) 2時~2/15 (土) 2時まで、京都、竜安寺
2/24 (月) 10時~3/1 (土) 2時まで、場所未定
3/9 (日) 2時~3/15 (土) 2時まで、鹿児島溝辺
3/23 (日) 2時~3/29 (土) 2時まで 兵庫、宝塚売布

リーゼンフーバー研究会案内

2002～2003年

キリスト教入門講座 金曜日 18時45分～20時30分 聖イグナチオ教会信徒会館アルベホール
どなたでも。聖書に基づきキリスト教の基本テーマを取り扱います。

キリスト教理解講座 毎月第1・第3火曜日 18時40分～20時30分 聖イグナチオ教会信徒会館アルベホール。キリスト教の基礎知識を持っている方。2年間のコース。信仰理解と信仰生活の深まりを目的とし、キリスト教の中心的テーマを探究します。

聖書研究会 木曜日 12時40分～13時25分 上智大学7号館316号研究室
学生のどなたでも。新約聖書を1章ずつ読んで話し合います。

坐禅会 ●月曜日 17時20分～20時10分
●木曜日 18時～20時30分
上智大学内 Kultour ハイム 1階左の部屋 3回坐り、間に講話があります。
どなたでもどうぞ。初心者も歓迎です。遅刻、不定期の参加も可。

接心 ●4月29日(月)20時30分～5月6日(月)16時
6月14日(金)20時30分～16日(日)16時 } 秋川神冥窟
8月10日(土)20時30分～17日(土)16時 } 1泊2400円程度
11月1日(金)20時30分～5日(火)16時 }
2003年3月15日(土)8時30分～16日(日)16時 } 上石神井5400円
●5月11日(土)13時～12日(日)16時 }
8月2日(金)17時30分～8日(木)13時 } 宝塚市

禪

ミサ 水曜日 17時10分～18時 上智大学内 Kultour ハイム 1階右小聖堂
どなたでも。(8月を除く)

黙想 ●「会社帰りの黙想」毎月第2・第4火曜日 18時45分～20時
聖イグナチオ教会マリア聖堂 どなたでも。
但し、8月には21日(水; 上智大学内 Kultour ハイム 聖堂)のみ。12月24日休み。
●水曜日 18時～18時30分 上智大学内 Kultour ハイム 1階右小聖堂
どなたでも。(8月を除く)

祈りの集い 下記の土曜日 13時30分～16時 上智大学内 S.J.ハウス第5会議室
講話、黙想、ミサがあります。
4月13日、5月18日、6月1日、7月13日、8月10日、9月7日、10月5日、
11月16日、12月7日、2003年1月18日、2月22日、3月8日

黙想会 6月29日(土)10時～30日(日)15時、8月23日(金)夜～29日(木)13時、
9月28日(土)10時～29日(日)15時、11月30日(土)10時～1日(日)15時、
2003年3月1日(土)10時～2日(日)15時
1泊4400円程度

アガベ会 説明会と集い 下記の日 13時30分～ 20代～40代の信者
4月14日(日)、6月23日(日): 上智大学カトリックセンター
10月12日(土)、2003年1月25日(土): S.J.ハウス第5会議室

クリスマス会 12月21日(土)16時30分～ 上智会館5階第6会議室 要申し込み
ミサ 12月23日(月)14時～ 上智大学内 Kultour ハイム 聖堂

問い合わせ・連絡先 クラウス・リーゼンフーバー神父 (上智大学文学部哲学科教授)
〒102-8571 千代田区紀尾井町7-1 上智大学 S.J.ハウス
電話 03-3238-5124(直通)、5111(伝言)、FAX 03-3238-5056

リーゼンフーバー神父 キリスト教入門講座

対象：キリスト教についての基礎知識を持ち、信仰をより深く考えたい

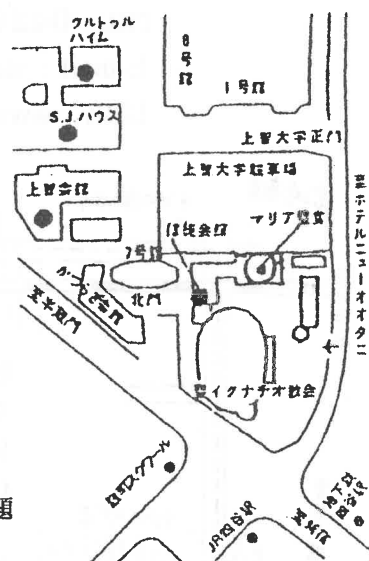
理解したい、生きたい方はどなたでも歓迎です。

各回のテーマ

- 10/25 信仰の決断—支えられて生きる
- 11/1 ミサ祭儀—神への奉仕と生活の糧
- 11/8 自己実現と神の意志—生き方の規範
- 11/15 人間の弱さ—罪とは何か
- 11/22 恵みと赦し—神の憐れみを受ける
- 11/29 愛の心—キリスト教
- 12/6 隣人愛—他人の内にイエスに出会う
- 12/13 希望を持つ勇氣—未来に向かって歩む
- 12/20 霊の働き—福音による生き方
- 12/21 クリスマスのミサとパーティ（上智会館5階6会議室）
- 12/23 ミサ（14時・上智大学内クルトゥハイム2階）
- 1/10 聖書と教会—信仰と基盤になる言葉
- 1/17 秘跡と教会生活—毎日を養う信仰
- 1/24 神の言葉—神との日常的な対話と黙想の仕方
- 1/31 結婚と独身—愛の道

キリスト教理解講座

- 11/5 受難による救い—イエスの救済的役割
- 11/19 死からの命—復活の認識・経験・理解
- 11/30～12/1 *黙想会
- 12/3 [聖霊] 神の内的現存—人間における聖霊の働き
- 12/17 三位一体の神—救いの構造から神内の存在へ
- 1/7 御子の受肉—神の子と人の子
- 1/21 信仰者の共同性—教会の本質
- 2/4 [教会] 教会の構造—その起源と機能
- 2/18 キリスト者の一致—分裂と和解
- 3/1～2 *黙想会
- 3/4 しるしとしての教会—社会における信仰者の課題
- 3/18 母なる仲間—信者と教会の原型マリア
- 3/29 感謝のミサ（2pm クルトゥハイム2階）



～祈りがあなたを待っています～

「祈り」があなたを待っています。ともに日常生活を分かち合いながら、
神さまと心をかよい合わせてみませんか。

祈りの集い

日 時：**9月8日(日)・10月20日(日)**
12月15日(日)・1月19日(日)
2月16日(日)・3月16日(日)
1：30～4：00
対 象：20代30代の未婚女性・求道者
参加費：無料

個人指導による召命黙想会

日 時：**11月23日(土) 10：00**
～24日(日) 16：00
対 象：修道召命を考えている20代
30代の未婚女性信徒
参加費：2000円(宿泊費・食費を含む)

担 当：コングレガシオン・ド・ノートルダムのシスター

場 所：コングレガシオン・ド・ノートルダム修道院

申込み・問い合わせ：

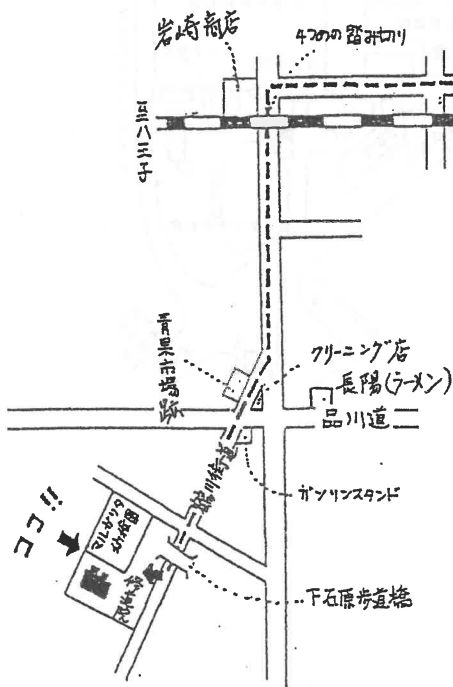
〒182-0034 東京都調布市下石原3-55-1

コングレガシオン・ド・ノートルダム修道院(係：渡辺)

TEL：0424-82-2012 FAX：0424-82-0760

E-mail：mariaprovince@tokyo.email.ne.jp

URL：www.cnd-m.com



[交通]

京王線「新宿」から「調布」まで特急、急行、快速で約15分。

[道順]

(1) タクシーの場合：南口に出て、「鶴川街道沿いのノートルダム修道院」(マルガリタ幼稚園)と言って下さい(約5分)。

(2) 徒歩の場合(約20分)：北口に出て、左方向に歩く。踏み切り4つ目まで歩くと、「岩崎商店」に突き当たる。左折して踏み切りを渡り右側の歩道を歩く。「青果市場跡」を通ると信号のある十字路に出る。前方に「下石原歩道橋」が見える。その下、右手に修道院の正門がある。*道路拡張のために工事をしているので、気をつけてお出かけください。

聖書深読黙想会日程

回数	月 日	場 所	指導司祭	備考
第1回	02年4月2日(火) ~3日(水)	イエズス会鎌倉修道院 (十二所)	奥村一郎 神父様	了
第2回	02年6月24日(月) ~25日(火)	不二聖心会黙想の家 (裾野)	中川博道 神父様	了
第3回	02年9月12日(木) ~13日(金)	イエズス会鎌倉修道院 (十二所)	新井延和 神父様	了
第4回	02年12月10日(火) ~11日(水)	不二聖心会黙想の家 (裾野)	奥村一郎 神父様	

【イエズス会鎌倉修道院 黙想の家】

〒248-0001 鎌倉市十二所 80 Tel 0467 (25) 1616

【不二聖心会 黙想の家】

〒410-1126 裾野市桃園 198 Tel 0559 (92) 2120

連絡責任者 密本 昌俊 Tel 045 (621) 5838

C. N. D.
黙想会のご案内

＝祈りのうちに神に耳を傾けませんか＝

2002年11月23日(土)10時から

11月24日(日)16時まで

テーマ: 修道召命を考えるー個人指導による黙想ー

指導者: **Sr. エリザベツ・シュラツツ** 他

(コングレガシオン・ド・ノートルダム会員)

対 象: 20代・30代の未婚女性信徒

場 所: コングレガシオン・ド・ノートルダム調布修道院

参加費: 2,000円(宿泊、食事一切を含む)

申込み: 11月20日(水)まで

連絡先: 〒182-0034 東京都調布市下石原3-55-1

コングレガシオン・ド・ノートルダム(係: 渡辺)

TEL: 0424-82-2012 FAX: 0424-82-0760

E-mail: mariaprovince@tokyo.email.ne.jp

http: //www.cnd-m.com

2002 カルメル会 黙想会

ユース・リトリート

若者と共に祈る音楽黙想会

日時：2002年11月30日（土）夕食12月1日（日）16時
場所：カルメル会 聖テレジア修道院（黙想）
指導：星野正道 師（カルメル会士）
黙想会費：¥5,000

*お問合せ：カルメル会上野毛聖テレジア修道院（黙想）

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-14-25

TEL 03-5706-7355

FAX 03-3704-1764



2000 2000 2000

2000 2000 2000

会野集音子附引其之卷

THE UNIVERSITY OF CHINA PRESS

(地址) 中国北京 100084

(电话) 010-64011000

000000

2000 2000 2000

2000 2000 2000

2000 2000 2000

2000 2000 2000



我よりもなほ重き荷を負ふ人の

多くありせば神みそなはせ

マリア安達留子遺稿集

萩の歌より



上野毛、宇治、大分

カルメル会 聖テレジア修道院（黙想）

聖テレジア修道院（黙想）は、カルメルの霊性を体験し深めたい方のためのものです。黙想会、研修会、練成会などに御利用下さい。個人でも団体でも御利用頂けますが、必ず事前に御連絡の上、お申し込み下さい。なお、詳しい御問い合わせは、下記へお願いいたします。

※☎158-0093

東京都世田谷区上野毛2-14-25

☎ : 03-5706-7355

FAX : 03-3704-1764

東急大井町線：「上野毛駅」下車徒歩7分

※☎611-0002

京都府宇治市木幡御蔵山39-12

☎ : 0774-32-7016

FAX : 0774-32-7457

京都駅よりJR奈良線：「六地蔵駅」下車徒歩15分

京阪バス：六地蔵の町並バス停より御蔵山行きに乗り

「西住宅バス停」下車徒歩5分

※☎870-1152

大分市上宗方1800-3

☎・FAX共：0975-41-4012

大分駅～バスで18分、大分川を渡って明礪橋を右折

男子跣足カルメル修道会

お 願 い

投稿くださるときには、だいたい、次のようにしていただけますと幸いです。

1. 締 切 り 毎月10日
2. ①各グループの 目的 或いは 主旨
②月間 或いは 年間予定：研修、黙想など具体的計画
③随想、こぼれ話など。「断想」「陽あたり」とか小題をつけて
④その他 自由ニュースをお送りください。
3. ワープロ。 なお、手書きの場合は早目にお送りください。
4. 原稿が長い場合、編集段階で選択したり、数回に分けて掲載させていただく場合があります。お赦してください。
5. 寄稿連絡は星野正道神父宛てにおねがいします。

-
- ・ニュース（霊性センターニュース）をご希望の方は 中尾豊子宛 に郵送御希望の月数分の220円切手又は現金を送ってください。（これには封筒代等が含まれています。）

中尾 豊子 〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台 3-15-5

☎045-941-3566

あ と が き

「霊性センターニュース」も奥村神父様の時代以来、常に変わらぬご理解とご支援をいただき心から感謝申し上げます。今後もこの小さな種が皆様の暖かなご協力のもとに、すこやかに成長していくようお祈りください。

なお、“一口一円”の呼びかけで始まった献金も、神様の御手の中で大きな助け手、働き手となってきています。ご協力、本当にありがとうございます。

喜びと悲しみ、日々の小さなことがらを通してイエス様が働きかけ、共に生きてくださいますように、お祈りいたします。

カルメル会霊性センター

星 野 正 道

